

# 知財AIオーケストレーション：業務効率化から戦略立案のパートナーへ

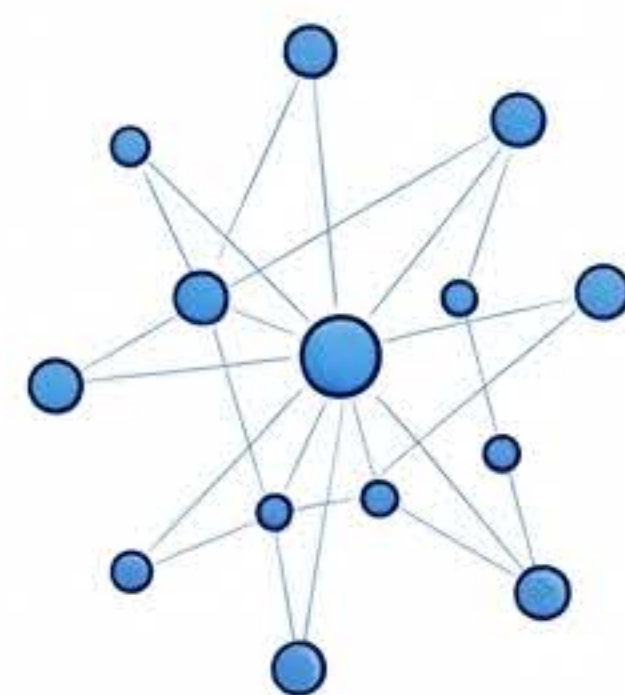
## 知財業務の進化：情報の「点」から戦略の「面」へ

## 次世代の知財人材：「奏者」から「指揮者」へ

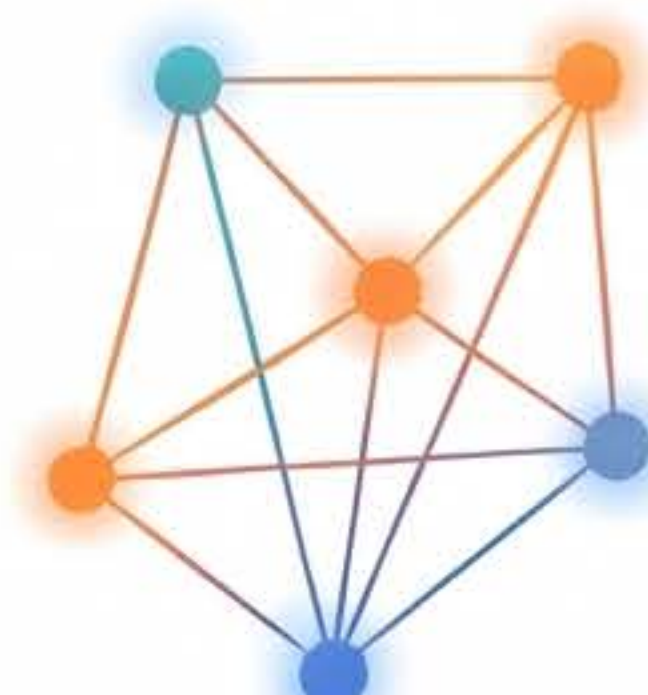
情報の昇華：点・線・面のプロセス

AIは「圧倒的な仮説生成マシン」

AIを「動かす」から「指揮する」役割へ



特許情報（点）



文脈で繋ぎ（線）



技術と市場を横断して大量の仮説を生成し、人間はそこから有望なものを厳選する。



個々のツールを使う「奏者」

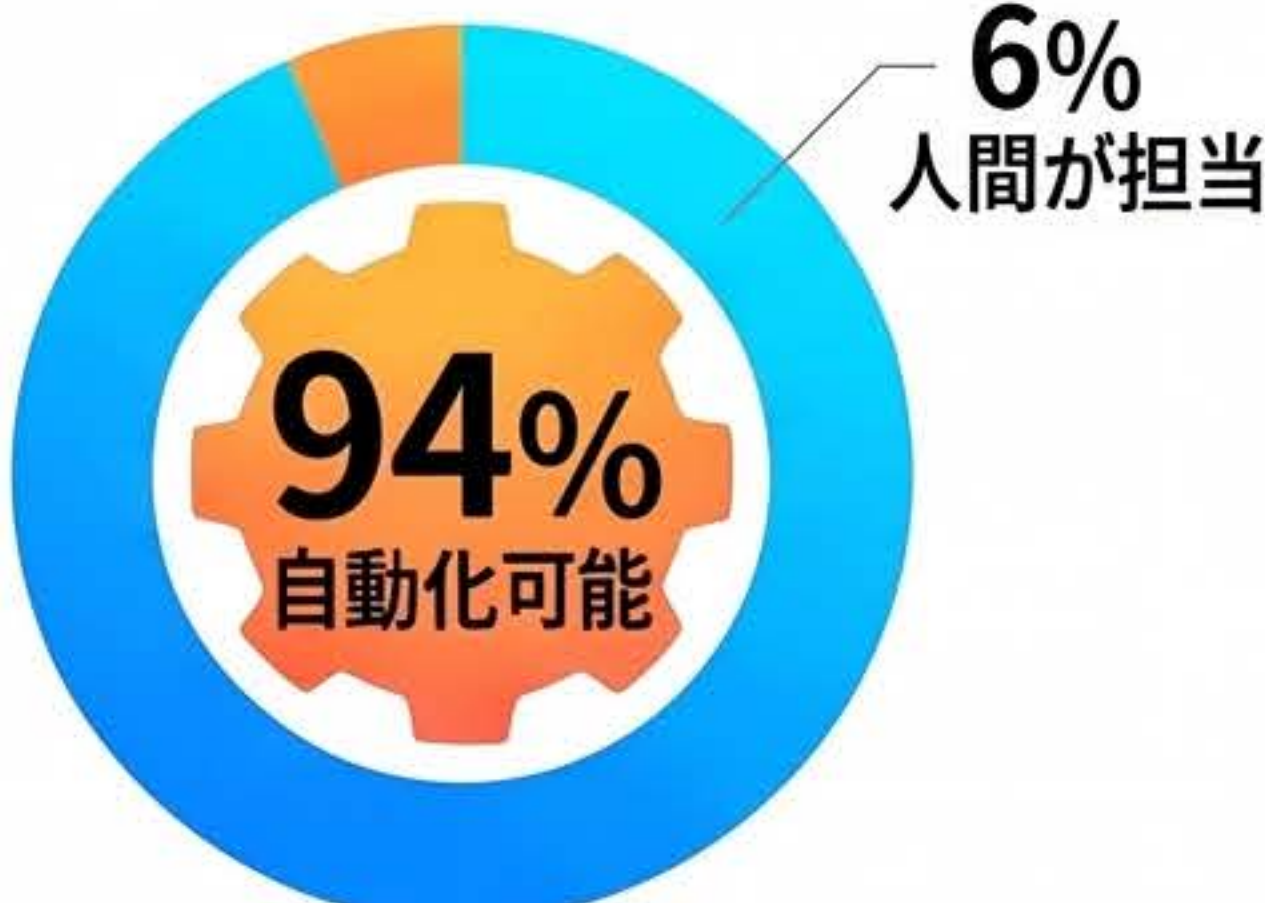


AIエージェントを部下として束ねる「指揮者」の能力が関われる。



戦略ストーリー（面）へと昇華させる。

ルーチン業務の94%が自動化可能に



米IBMの事例では、AI活用により人事のルーチン業務の多くが代替され、組織構造が激変している。

3つの必須スキル：設計・協働・創出

最後に求められる「人間力（EQ）」



設計力：AIを動かす設計力



協働力：関係者を巻き込む力



創出力：知財を利益に変える事業価値創出力



信頼関係を築き、AIの分析結果を基に相手を動かすための高い感情知能が不可欠となる。